12
December 2017
第764号
平成29年12月1日発行
（毎月1日発行）

［広報］

さめがわ

Public Relations SAMEGAWA



見て見て！かわいいリースを作ったよ

■特集
伝統芸能継承への思い

■小特集
SUN3プランさめがわ
～太陽のように輝く子どもを育てる～



伝統芸能継承への思い

村に伝わる伝統芸能は、口伝により人から人へ長い年月の間ずっと継承されてきました。しかし、若い世代の減少や、環境の変化の影響が、この長く続いた村の文化にも影を落とそうとしています。これらを守り次の世代へ伝えるために皆が課題を受け止め、考えをめぐらせなければいけないのではないでしょうか。









1・2_奥州鮫川太鼓を披露する鮫小6年生。息の合った演奏で会場を沸かせました／**3・4_**16年ぶりに披露された渡瀬の獅子舞。花笠に続いて獅子が入場すると、会場からは歓声があがりました

渡瀬の獅子舞が16年ぶりに披露

10月28日に鮫川小学校で行われた「さめっ子フェスティバル」の6年生による発表で、2つの伝統芸能が披露されました。中でも村指定無形民俗文化財に登録されている渡瀬の獅子舞は、平成13年以来、実に16年ぶりの披露となりました。

「子どもたちの興味を尊重しました」と話すのは、6年生の担任で、今回の伝統芸能発表のきっかけを作った長場先生です。「9月の総合学習の時間に、村に伝わる伝統芸能について学習し、子どもたちは獅子頭や小道具、太鼓などに実際に触れたことをきっかけに、伝統芸能について興味を持ちました。やってみたいという子どもたちと、地域の人たちの手厚い協力のお陰もあり、放課後の練習を続け、無事に発表することができました」と話す先生は、本番でも練習通りできるかとても心配していたそうです。無事に成功を収めたときは、生徒と一緒に喜んだと言います。

村に残る伝統芸能の危機

村の伝統芸能として受け継がれているものには、「渡瀬の獅子舞」と「奥州鮫川太鼓」があります。渡瀬の獅子舞は、村の文化財では唯一、村指定無形民俗文化財に指定されていますが、後継者不足から継承の危機が訪れています。

伝統芸能に教科書のようなものはなく、動画などの記録はあるものの、細かい動きや演奏方法などは、全て地域の人たちの口頭でのみ伝えられてきました。しかし、獅子舞を経験した若い世代が減り、伝統芸能を伝える人も高齢になり、だんだんと人に教えることが難しくなっています。このまま後継者がいなければ、貴重な村の文化は失われてしまうでしょう。



平成13年に披露された渡瀬の獅子舞

村指定無形民俗文化財
渡瀬の獅子舞

守り続けた伝統芸能

渡瀬の獅子舞

渡瀬の獅子舞は、古くから江竜田の地域に伝えられ、昭和48年1月10日に「鮫川村指定無形民俗文化財」に登録されました。文化財に登録されて以降、渡瀬獅子舞保存会によって現在まで受け継がれ、豊作の年の秋祭りなどに、渡瀬区内の北野神社や熊野神社、観音寺や区長宅で奉納されてきました。



渡瀬獅子舞保存会
会長　芳賀正訓さん

渡瀬獅子舞保存会の会長を務める芳賀正訓さんに、獅子舞の伝承について聞きました。「渡瀬の獅子舞は、3人の獅子（雄獅子、中獅子、雌獅子）と笛を吹く4人の花笠、それに道化と鉦（かね）が1人ずついます。獅子役は江竜田地区に住む家庭の長男が担当してきましたが、これは長男が家を継ぐために、地域に残ることに由来しています。獅子役を務めた長男は、その後も各役を経験し、後に指導者となり、伝統を守る仕組みです。

演目は全部で21種類あり、すべて口頭で伝えられています。笛の囃子も楽譜などはないため、『ピーヒャラヒャラ』『ピューヒョロリ』など、音を言葉に例えて伝えますが、これが大変難しく、伝承できる人はわずかです。また、演目





右_うつくしま未来博で披露された渡瀬の獅子舞／**左_**後半の演目では道化が登場し観客を楽しませます

【演　目】

渡り拍子、入波、拝み、
御旋堂、威礼波、威礼波崩し、
歌笛、二矢見、剣舞、
すこひんだし、岡崎、春雨、
三足跳、揺り上げ、おきよせ、
トートノメー、雌獅子かくし、
竜さぎ、太鼓の胴、以礼波、
ヒーヒャラリ



3匹の獅子は角や牙、大きさなど形が少しずつ異なります（写真右から雄獅子、中獅子、雌獅子）



江竜田地区を見下ろす熊野神社は、地域の人たちの手で管理が続けられています

をすべて行うと一時間ほどの内容になりますが、以前は繰り返す演目も多く、もっと時間がかかっていたものを省略して今の形になりました」と芳賀さんは話します。

　演じる機会が減った今は、江竜田公民館で獅子頭を保管し、年に1度虫干しや用具の確認などの管理を行っていますが、多くの人が獅子を見られるように、獅子頭の展示について検討もされています。



Voice　**村文化財審議会**
会長　青戸良一さん

私が渡瀬の獅子舞を初めて見たのは中学生の時です。当時、舞や衣装の印象も強かったですが、一番記憶に残っているのは、化粧の口紅の赤色です。小さい子が化粧した姿が「かわいい」という感じで、とても印象的でした。そして、平成13年に開かれたうつくしま未来博で再び見た時は、伝統の重さを感じ、舞の意味や伝承方法について、とても興味を持ちました。私も文化財に関係する一人として、継承に協力していきたいと思いました。

　渡瀬の獅子舞を取り巻く現状はとても厳しいものです。地域の子どもたちは減り、かつて獅子舞を経験した若者たちも村を離れてしまいました。残っている指導者たちはいつまでも元気でいられるわけではありませんので、伝統を守っていくためにはすぐにでも対策を立てなければいけない状況です。審議会としても、貴重な伝統をなんとか続けられるように支援していきたいと考えています。

　古くから伝わる伝統には、必ずそれを伝えてきた人たちの努力があります。そのような伝統への感謝の気持ちを忘れずに、厳しい現状を受け止め、獅子舞保存会と議論を重ねて、継承する方法について一緒に模索していきたいです。

渡瀬の獅子舞の起源は？

　渡瀬の獅子舞の起源について、はっきりとした年代は分かっていませんが、江竜田地区では悪い病気が流行し、凶作が続いていました。そこへ、1人の老人が3人の子どもに獅子舞を演じさせながらたどり着き、悪疫退散と豊作を祈って獅子舞を舞いました。すると、翌年から豊作となって部落に平和が戻ったそうです。そこで、江竜田の人々は老人から獅子頭をもらい受け、鎮守の熊野神社に奉納するようになりました。

　南北朝時代(西暦1300年代)に白川城主である結城宗広が村を巡視した際に、熊野神社に参拝しました。その時、江竜田の青年や子どもたちが一致団結して獅子舞を奉納しました。これが現在の渡瀬の獅子舞の起因になっています。

渡瀬の獅子舞 伝統芸能に込める地域の思い

継承の難しさ 課題残る



深刻な後継者不足

渡瀬の獅子舞は、平成13年のうつくしま未来博での披露が12年ぶりでしたが、未来博を最後に披露する機会は失われてしまいました。獅子舞を演じるには、同年代の子どもが最低4人必要ですが、地域の子どもが減り、獅子舞の担い手がいなくなってしまったからです。

獅子舞の1時間ほどある演目をすべて覚えるには、相当の努力が必要です。また、練習は学校が終わってから夜遅くまでかかるので、長期になれば子どもたちの勉強などへの影響も懸念されます。保護者の送迎の負担も考えなければいけません。

今回、渡瀬の獅子舞の披露に挑戦したのは、地元の渡瀬地区から木村光佑さん、藤田友稀さん、芳賀利哉さんの3人と西山地区から我妻佑作さん、高野恒誠さんの5人。小学生の演技指導にあたった芳賀元治さんは、実際に継承していくことの難しさを改めて感じたと言います。「短い期間の中、子どもたちはよく頑張って練習したと思います。太鼓を叩くタイミングや笛の音と合わせた動きなど、どれも一朝一夕で身に付くものではありませんから。しかし、今回披露した演目は、渡瀬の獅子舞のほんの一部にすぎません。お客さんに獅子の雰囲気を感じていただけたことは嬉しく思っていますが、継承という面ではまだまだ課題が残ります」と、今後に不安を感じると言います。また、演技を教える自身の体力の衰えも出てきたと言い、「小さな集落の中で伝えてきたからこそ、皆が責任を持って獅子舞を残してこれたと思っていま



渡瀬獅子舞保存会
若衆頭　芳賀元治さん



鮫川小6年生インタビュー

獅子舞を体験して感じたこと



【中獅子担当】
木村光佑さん(江竜田)

獅子舞をやって大変だったことは、ちゃんと笛を聞きながら太鼓を叩かないといけないことです。笛の音をちゃんと聞かないとリズムがずれてしまうからです。練習は大変でしたが、江竜田地区の皆さんやお客さんが喜ぶ姿を見て、とても嬉しかったです。



【雄獅子担当】
芳賀利哉さん(福原)

練習を始めたときは、あまり自信がありませんでしたが、やってみるとだんだん楽しくなりました。本番は、少し緊張してうまくできなかったところもありましたが、無事に最後までできて良かったです。忙しいなか、協力していただいた江竜田の地区の人たちには感謝の気持ちでいっぱいです。



【花笠担当】
我妻佑作さん(落合)

獅子舞の練習では、笛が先頭で担う役割や獅子舞の動きがとても勉強になりました。なかでも太鼓役の人の姿勢や表現力が素晴らしいと思いました。



【雌獅子担当】
藤田友稀さん(上)

ぼくが、獅子舞を踊ったことは一生の思い出です。江竜田地区の皆さんには毎日練習に協力していただきました。本番でも保存会の皆さんの笛の音色のお陰で、うまく発表することができました。発表後、たくさんのお客さんからも声をかけていただき、とても嬉しかったです。



【花笠担当】
高野恒誠さん(発地岡)

ぼくは、花笠役をやりました。獅子舞保存会の皆さんは、たくさんの演目を全部演奏できるなんて、すごいと思いました。すごく貴重な体験をさせてもらいました。ありがとうございました。





上_本番前、控室で衣装の着付けを指導する芳賀さん／**下**_江竜田地区の人たちも総出で応援にかけつけました



8日間の練習期間、地域の人が集まり毎晩のように舞の指導が行われました

す。しかし、子どもが減り、集落内での継承は難しい状況です。村の中から継承したい人が現れれば嬉しいですが、そのための体制づくりについてもよく考えなければいけません」と話す芳賀さん。貴重な集落の文化を継承したいという願いと、うまくいかないという葛藤が伝わってきます。

奥州鮫川太鼓

地域の文化を伝える

奥州鮫川太鼓は平成4年、小学校の発表会の出し物として初めて披露されました。当時6年生の担任を務めた西牧泰彦先生が、練習の中で生まれたフレーズを生徒とともに集めて「強滝太鼓」という曲を作り、披露したことが始まりです。平成5年4月には、太鼓を通して地域を活性化させるとともに、村に伝統芸能を残そうと奥州鮫川太鼓保存会が結成され、25年間、保存会の皆さんが受け継ぎ、技を磨き、今に残しています。そして、村の成人式や花火大会などのイベントでは、力の入った迫力のある演奏で会場を沸かせています。

しかし、鮫川太鼓は活動人数が減り、存続が危惧されている状況でもあります。鮫川村で生まれた文化を「次の世代へ伝えていきたい」という思いが募ります。

6年生15人が太鼓に挑戦！

今回の6年生の発表では、渡瀬の獅子舞を演じた5人を除いた15人が奥州鮫川太鼓に挑戦しました。指導にあたったのは、奥州鮫川太鼓保存会の代表を務める宗田真弓さん（宿ノ入）。限られた短い練習期間の中、子どもたちの努力もあり、発表は無事に成功を収めることができました。

子どもたちに鮫川太鼓を体験してみた感想を聞くと、「息を合わせるのが難しかった」「実際やってみると大変だった」など、最初こそ太鼓の難しさを感じたようですが、毎日練習を重ね、無事に発表を終えると「全員が揃った瞬間が気持ち良かった」「大変だったけど楽しかった」「これからも鮫川の伝統を大切にしていきたい」と、それぞれが大きな達成感を得て、太鼓の魅力を発見したようでした。この秋、小学校生活の最後の出し物は、子どもたちにとって大切な思い出となりました。

鮫川小6年生インタビュー

鮫川太鼓を体験して感じたこと



熱心に練習に取り組む6年生の子どもたち



中川友愛さん（田尻）

奥州鮫川太鼓をやって一番勉強になったのは、みんなと合わせるということです。一人でもずれてしまうと演奏がバラバラになってしまうので、練習はとても大変でした。本番は、みんなで息を合わせて演奏できたので良かったです。

我妻凌さん（落合）



ぼくは、鮫川太鼓が昔から今まで残っているのがすごいと思いました。太鼓を叩いているうちに、「上手になりたい」と思うようになりました。さめっ子本番では、成功して良かったです。



平成４年の文化祭で披露された「強滝太鼓」。「主人公や脇役のないもの。誰もが叩けば音が出て、それぞれの音が合わさって、皆で一つの曲になる」この思いが奥州鮫川太鼓の始まりとなりました

「強滝太鼓をもう一度演奏したい」

そう話す宗田さんの声に気持ちが込もります。鮫川太鼓の始まりでもある「強滝太鼓」を演奏するには、大勢の人が必要だと言います。「強滝太鼓は、滝をイメージした太鼓のリズムだけでなく、水の流れる様子を人の動きで表現します。舞台から人が飛び降りる動きなども印象的で、私も初めて見た時は感動しました。私たちが伝えていかなければ、村から生まれた強滝太鼓という名曲も失われてしまいます。村で生まれた素晴らしい曲があるんだよ、という気持ちを込めてこれからも鮫川太鼓を伝えていきたいです」と、宗田さんは思いを込めて太鼓を叩きます。



鮫川花火大会で演奏する奥州鮫川太鼓保存会の皆さん。息の合った演奏が会場を盛り上げます



奥州鮫川太鼓保存会
代表　宗田真弓さん

奥州鮫川太鼓保存会は、多いときには30人近い会員がいましたが、現在は代表の宗田さんを含め７人です。太鼓に興味がある人はぜひ一度見学に来てほしいと言う宗田さん。「太鼓は叩けば誰でも音を出すことができる楽器です。皆で演奏した時の一体感や達成感を味わってもらいたいです」と続けます。



練習は毎週水曜日に村公民館で行われます

基本的生活習慣が学力を支える

幼・小・中学校学力向上推進支援事業取り組み紹介

SUN3プランさめがわは、「幼・小・中のよさ、つながりを大切にし、太陽のように光り輝く子どもを育てます」をスローガンに、平成18年4月から村の幼稚園・小学校・中学校が連携して取り組んでいる事業です。「わかる・できる・考える授業の実現」「自分の夢や進路の実現に向けて自ら学ぶ力の育成」「望ましい生活習慣を身につけさせ自ら律する心の育成」の3つの重点目標のもと、村内の教職員が共通理解を図りながら、具体的な取り組みを推進してきました。

それでは、実際にどのような取り組みをしているのでしょうか。SUN3プランさめがわを実施している幼稚園・小学校・中学校の先生たちに聞きました。

生活学習アンケート 村の子どもたちの実態に迫る

子どもたちの学習の状況を知るために、生活学習アンケートを毎年実施しています。7月に実施したアンケートでは298人が回答しました。

生活習慣について

子どもたちの平日の就寝時刻を見ると、幼稚園児が9時半まで、小学生が10時まで、中学生が11時までということが分かります。（表1）

読書習慣について

幼稚園児は「時々読んでもらう」、小・中学生は「1ヵ月に1～3冊読む」という傾向があります。（表2・表3）一方で、「全く読まない」という子どもが、小・中学生全体の約23％を占めており、読書をする機会が少ないことも事実です。

家庭学習習慣について

平日は、小学生で1日1時間くらい、中学生で1～2時間くらい家庭学習を行っているのに対し、休日はその時間がかなり少ないと言えます。特に小学生は、全体の74％が1時間以内の学習時間となっています。時間のとれる休日こそ、普段出来ない学習などにチャレンジさせてみてはどうでしょうか。

（青生野小学校）

生活学習アンケート結果

（鮫川幼稚園、青生野小、鮫川小、鮫川中の子どもたち）

調査時期　平成29年7月　対象人数　298人

(表1)平日何時頃寝ますか？

	幼稚園	小学生	中学生
～9時頃	10 人	75 人	3 人
9時30分頃	14 人		
10時頃	5 人	84 人	37 人
11時頃	0 人	6 人	52 人
12時頃	0 人	0 人	11 人

（未回答1人）

(表2)絵本の読み聞かせを楽しんでいますか？

楽しみ方	幼稚園
毎日1冊は読んでもらって楽しむ	1 人
ときどき読んでもらって楽しむ	20 人
絵本を借りてきた時だけ読んでもらう	8 人
絵本の読み聞かせはほとんどない	0 人

(表3)一カ月に何冊ぐらい本を読みますか？

	小学生	中学生
10冊以上	18 人	1 人
4～9冊	35 人	15 人
1～3冊	81 人	56 人
全く読まない	32 人	31 人

(表4)休日1日にどれくらい家で勉強しますか？

	小学生	中学生
4時間以上	0 人	7 人
3時間くらい	2 人	22 人
2時間くらい	41 人	38 人
1時間くらいまで	123 人	36 人

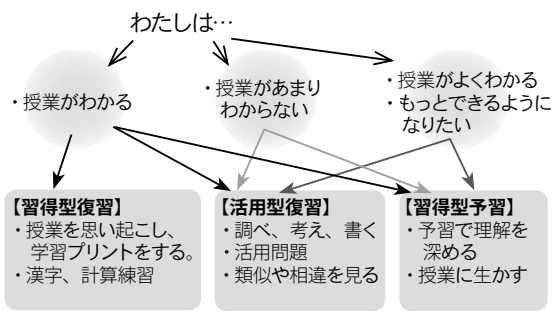


鮫川村教育長
奥貫　洋

学ぶ力
毎日の授業と家庭学習は車輪の両輪です!

小さい子どもは、家族が見守るところで勉強をします。小学校高学年では、自主学習の仕方を身に付け、中学校へ備えます。保護者の皆様の刺激で、興味関心の花は大きく開きます。さらに教科は違っても、学び方は同じ場合があることに気づくと喜びは増えます。親の成功談、失敗談を我が子に語り合えるご家庭であるといいですね。「学ぶ力」は、親から子への働きかけで、大きく変わるものです。

あなたにあった学習は何型かな？



NOメディアデー 2年目の取り組み

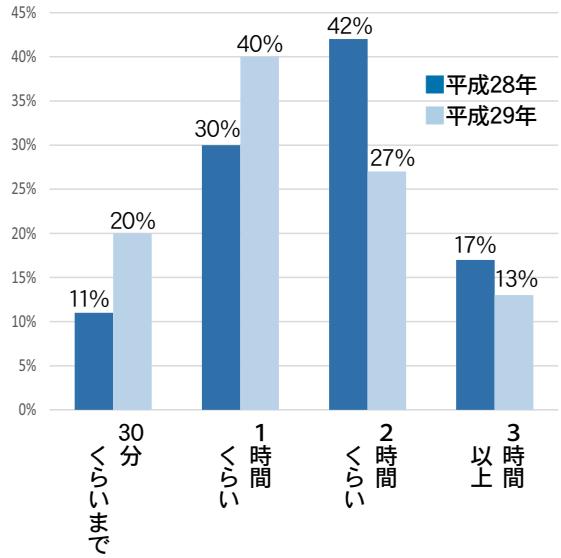


昨年10月より取り組み始めた「NOメディアデー」を今年度も継続して実施しています。火曜日の朝6時50分、村防災無線で「NOメディアデー」の放送があり、村内の各家庭に周知しているため、取り組みが浸透してきているのではないかと思います。

昨今のニュースで取り上げられているように、ゲームや携帯電話依存の問題、SNSなどによる人間関係のトラブルによる事件が増えています。メディアに触れる時間を意図的に制限することによって、家庭における時間の有効な使い方について考える機会とし、メディアに触れる時間をコントロールする意識を高めていくために取り組みを充実させていきましょう。

（鮫川中学校）

問. 平日、テレビ、ゲーム、携帯電話などのメディアの利用時間は、どれくらいですか。鮫川中の生活学習アンケート結果より（平成28年6月と平成29年7月の実施結果の比較）



NOメディアデーの取り組みを始める以前は、2時間以上が59%と長時間にわたってメディアを活用していました。取り組みを開始して徐々に時間が減少し、家族の団らんを大切にしている家庭が増えてきました。

学校と家庭をつなぐ「家庭学習のすすめ」



家庭学習の3つのポイント

家庭学習は、学力向上はもちろん、学習意欲の向上や集中力を伸ばす重要な役割を果たしています。昨年度から、「子どもをのばす家庭学習3つのポイント」というチラシを配布しています。3つのポイントとして、①家族の協力 ～学びを支える学習環境づくり～ ②自発的に取り組む ～宿題と自主学習～ ③しつけしっかり ～望ましい生活習慣～ をあげています。

これからの知識基盤社会を生き抜いていく子どもたちにとって、自分に必要なことを主体的に学んでいく力は不可欠です。学校と家庭が連携し、家庭学習の習慣を身に付けるとともに、自発的な学習を促すことにより子ども達の確かな学びの力を育んでいきます。

（鮫川小学校）

リズム運動で体を動かす楽しさ、大切さにふれる



音楽に合わせて転がったり、ハイハイしたり、あひる歩きをしたり、楽しく体を動かします

こどもセンターでは、リズム運動を取り入れ、毎日続けています。リズム運動を積み重ねることで、狭い空間での動きや鬼ごっこなどでもぶつかったりせずに機敏に動けるようになるため、見学された先生方に「転んだり、ぶつかったりしないんですね」と感心されることもあります。小さい時から体を動かす楽しさ、大切さを知らせながら、体力向上、健康維持、運動能力を高められるようにこれからもリズム運動を続けていきたいと思っています。

（こどもセンター）

地域の地下水保全政策を考える

地下水サミット開催

県内外の８町村（鮫川村・小野町・川内村・平田村・古殿町・天栄村・北海道東川町・千葉県芝山町）で構成する安心・安全でおいしい地下水連絡協議会（会長　大樂鮫川村長）は、地下水（環境水）の保全や利活用について、政策の展開や支援を呼びかけることを目的に、11月９日、村公民館で「地下水サミット～地下水を未来に～」を開催しました。

始めに大樂村長があいさつし、来賓の県企画調整部の林千鶴雄政策監が祝辞を述べた後、基調講演に入りました。



村内外の関係者や村内の中学生など約３００名が参加しました

基調講演では、アクアマリンいなわしろカワセミ水族館の平澤桂さんが、「水辺の生物の現状」をテーマに、多様な水生生物の生態や保全について、良く見かける種から珍しい種まで写真を交えて紹介しました。

続いて行われた町村長サミットでは、各町村の環境水保全の取り組みについて意見交換が行われ、最後に次回開催地である平田村の澤村和明村長によるサミット宣言を採択し、幕を閉じました。

問村役場地域整備課☎４９－３１１４



町村長サミットでは、課題解決に向けて意見が交わされました

あなたの体は大丈夫？

セルフチェックのすゝめ【認知症予防編】

認知症になりかけている状態を軽度認知障害（ＭＣＩ）と言います。この時期に放置した人の半数以上が、３年後に認知症になったというデータがあります。しかし、この段階で気付き、適切な対策をとることで認知症の発症を抑えることが期待できます。積極的に予防対策に努めれば、脳の働きを正常な状態まで回復できる可能性があることもわかっています。

セルフチェックをして、自分の状況を確認しましょう。

やってみよう！

- □ もの忘れが増えた
- □ 簡単な計算ができなくなった
- □ 料理などの家事がテキパキできなくなった
- □ 今まで楽しかったことや趣味への意欲がなくなった
- □ その日の日付や曜日がときどき混乱する
- □ テレビドラマの内容が理解できなくなった
- □ 話しかけられると、今までしていたことを忘れてしまう
- □ 服装など身の回りに無頓着になった

認知症の相談窓口

▶村役場住民福祉課　☎49-3112
▶村地域包括支援センター　☎29-1233
▶介護支援事業所「ひだまり荘」☎49-2306

問村役場住民福祉課　☎49-3112

教育長コラム

「何度でも挑戦！」
聞き慣れたキャッチ・コピーですが、学校の中ではうまく機能しているでしょうか。
昨年、届けられた資料に父と２名の子どもたちがそれぞれに解決に向けて取り組んだ解答例がありました。それらを見ると、「何度でも挑戦！」の気持ちが伝わってきて、嬉しくなりました。
料理の材料を比で配分したら鍋に入りきらなくなってしまったという失敗などはとても大事なことなのでしょう。また、やっと自分の名前を漢字で書けるようになったら、その漢字がいっぱいあることが分かり、嬉しくなったという体験をした子どももいます。
先月には、校内や村のマラソン大会などが行われました。今回の結果に満足することなく、次回を期して挑戦しようとする態度が学校でも求められています。
「何度でも挑戦！」は、子ども時代に求められる大事なことなのでしょう。

奥貫　洋

ぼく・わたしの夢　＜第30回＞　鮫川小６年生



我妻　祐作（ゆうさく）さん

プロ野球選手になりたい

４年生のときに友達に誘われて野球部に入りました。実際に入ると、イメージと違って練習が厳しく、野球が嫌いになったこともありました。それでも両親に励まされて続けていくうちに、楽しくなってきました。あの時に続けていて良かったと、励ましてくれた両親に感謝しています。小学校の試合も終わったので、残りの期間は中学校に向けて、苦手な算数を中心に勉強も頑張りたいです。

美容師になりたい

私の通っている美容師さんの姿に憧れて美容師になりたいと思いました。その人はとてもフレンドリーで、初めての人でも安心して話しやすい雰囲気にしてくれます。私は、初めての人と話すと緊張して何を話せばいいか分からなくなってしまうので、その美容師さんの接客姿がとてもかっこよく見えました。私もお客さんを安心させられるような美容師になりたいです。



須藤　百香（ももか）さん

学校だより（158）

鮫川中学校編

学校へ行こう週間 お世話になりました！

11月11日（土）、学校へ行こう週間として多数の保護者の皆さんに来校していただきました。

授業参観

１～４校時の授業を自由参観として公開し、都合の良い時間を参観していただきました。

教育講演会

最近のＳＮＳなどの問題を受けて、違法・有害情報センター長の桑子博行さんによる「インターネット・スマートフォンを安全に利用するには」という演題で講演会を実施しました。



学年保護者懇談会

生徒の学校での生活状況や今後の予定などを協議しました。３学年は、生徒と一緒に高校入試の説明会を行いました。



壇の岡祭

今年のテーマは「勇気」

10月21日（土）、「勇気～ふみだす一歩」のテーマで第40回壇の岡祭が開催されました。

午前の部の合唱コンクールでは、各学級ともに最優秀賞を目指して素晴らしいハーモニーを体育館に響かせていました。

午後の総合学習の発表は、１年が地域学習、２年が職場体験、３年が福祉体験で学んだことを発表しました。

生徒たちは、準備や練習を積み重ねて学習の成果を発表し、大成功の壇の岡祭となりました。



合唱コンクール結果

最優秀賞　３年１組
優秀賞　２年１組
伴奏者賞　星　朋香　３年１組
指揮者賞　北條　佑奈　３年１組
〃　高野　敦輝　２年１組

文化祭テーマ

薄葉　大生　３年１組

ポスターコンクール

藤田　桜花　３年１組

（文・写真／鮫川中学校）


軽快な2人の漫才に会場の笑い声が止むことはありませんでした

感謝を込めて笑いを届ける
母心お笑い１０周年記念ライブ開催

今年でコンビ結成10周年を迎えたお笑いコンビ「母心」は、福島感謝お笑いライブツアー「59市町村ありがとない!」の鮫川公演を10月26日、村公民館で開催し、多くの人が訪れました。母心は、オカンこと嶋川武秀さんの着物の女装姿が特徴で、次々と繰り出されるボケに対して、相方の関あつしさんの軽快なツッコミが冴える中、漫才やコントのほか鮫川村にちなんだ小話などが披露されました。観客は終始お腹を抱えて笑いっぱなしの楽しい時間を過ごしました。

学習の成果を披露
鮫川小で学習発表会

鮫川小の学習発表会「さめっ子フェスティバル」は10月２８日、同校で開かれ、児童たちが日ごろの学習の成果を披露しました。

合唱部による「今だよ」「友だちになるために」の2曲が披露されたほか、敬老作文の発表や幼年少年消防クラブの防火標語コンクール表彰、少年主張作文の発表が行われました。学年ごとの演目では、趣向を凝らした発表が続き、保護者たちから大きな拍手が送られました。


全身を大きく使ってソーラン節を踊る児童（３年生）


落語の身振りや手振りを覚えて披露する学生

笑いの文化を学ぶ
修明高校鮫川校で学校寄席

修明高校鮫川校の芸術鑑賞会「風のまつり」は１０月３０日、同校体育館で行われました。今年は「学校寄席」と題し、落語家による小噺や紙切りが披露されました。落語家の身振りや手振りで表現される話や、紙切りの息をのむような妙技に、会場は笑いと歓声で満たされました。

体験コーナーでは高校生が覚えた落語を披露し、その一生懸命な姿に大きな拍手があがりました。

さめがわの豊かな「食」は宝
鮫川の郷土料理を楽しむ会

「鮫川の郷土料理を楽しむ会」は１１月１２日、村公民館で開かれ、村内外から訪れた多くの来場者が「鮫川の食」を味わいました。会場には、村内で生産・加工された食材を使った料理のほか、山際食彩工房（会津若松市）・山際博美さんの村内産食材の味を生かした創作料理、明日飛学園の特製ギョウザ、修明高校鮫川校のえごマドレーヌなど、個性あふれる自慢の品が所狭しと並べられ、鮫川村の豊かな「食」の魅力を発信する機会となりました。


村内産の食材をふんだんに使った料理が並びました

村民の誇りを胸にタスキつなぐ
第２９回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会

「第２９回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会(ふくしま駅伝)」は11月19日、しらかわカタールスポーツパークをスタート、県庁前をゴールとする16区間、94.8㌔のコースで行われました。今年も県内５９の全市町村が参加し、合同チームを含め53チームが出場しました。本村チームは、昨年度の５時間３１分１０秒(総合順位２５位)に比べ、５時間４６分４８秒と15分タイムを落としたものの、総合順位37位、村の部6位と健闘しました。

今年は中学生が中心の若いチームでしたが、一丸となって最後まで力強く走り抜きました。目標としていた５時間30分台にこそ届きませんでしたが、選手たちは今年の経験を糧に、来年度のリベンジを誓いました。





上_全力を尽くして走りきった鮫川チーム／**下**_沿道からの声援を受けて力走する蛭田樹璃選手(鮫川中2年)



迅速な対応を見せた消防団員。火災予防も呼びかけました

万が一に備えて
大久保地区で火災防御訓練

火災防御訓練は１１月１２日の早朝、大久保地内で行われました。訓練には村消防団員や棚倉消防署鮫川分署員などが参加。「火災警報発令中、たき火が風に煽られ山林へ延焼拡大している」という想定の下、通報から放水までの一連の防御活動が繰り広げられ、団員らは本番さながらの機敏な動作で、訓練に臨みました。訓練終了後は、消火器取扱訓練が行われ、地元住民は、鮫川分署員の指導で安全な消火方法を学びました。

思いを言葉と歌にのせて
少年主張大会・音楽発表会

「第22回鮫川村少年主張大会・第１６回音楽発表会」は１１月３日、村公民館で行われました。主張大会では、小学生から高校生までの１１人が家族や村のこと、これまでの経験から感じたことなどを発表しました。

続いて行われた音楽発表会では、村内の小・中学校合唱部が美しいハーモニーを披露したほか、中学生による合奏が会場を盛り上げました。最後に来場者全員による「村民の歌」の合唱が行われ幕を閉じました。



主張発表をする中川西夢奈さん(鮫川中3年)。怪我を通じて感じた家族や仲間、先生とのつながりの大切さを伝えました。

村民【随想】リレー ── 233

森田　慎也さん

故郷のためにできること



もりた・しんや●1985年６月生まれ。大同信号株式会社勤務、趣味は魚釣り、トレイルランニング。９月には安達太良山のレースに出場し、初完走しました。好きな言葉は、一期一会。西山字水口、32歳。

娘の誕生を機に村へ戻り、現在は妻、娘二人と幸せに暮らしています。趣味は魚釣りや、最近は登山道を走るトレイルランニングに挑戦しています。普段の練習は、自宅周辺でジョギングするほか、舘山公園や鹿角平クロスカントリーコースを周回し、スポーツと鮫川の自然を満喫しています。

村の人口減少には、いつも胸が締め付けられる思いを感じています。子育て世代の定住促進に向けた施策、支援を村には求めるところではありますが、同時に、自分が村のためにできることは何か、を考えています。私は、地元で採れた野菜などを地元で消費する「地産地消」の目線を少し変えて、地元の施設、観光地、イベントを地元の人が積極的に消費するということが大切ではないかと感じています。地域や人に密着することで、新たな発見や繋がりが生まれ、人が集まるのだと思います。私自身、村に戻ってからは地元のイベントなどに積極的に参加し、充実した生活を過ごせています。趣味での施設利用もその一つです。

今後も私なりに地産地消を楽しみながら、村の活性化に貢献できたらと考えています。■

次号は、白坂訓さん（赤坂西野字見渡）にバトンタッチ！

俳句

秋彼岸長男ひとり唄ってる　中井　恒峯

白菜の丸く太りて手に重し　北條素人坂

話題は専ら福島駅伝秋深む　松本　精一

落葉踏み来る孫の足音かくれんぼ　前田　縫子

春秋に柚子の里から薬売り　山本　恵子

閉校の八人の歌声青生野小　斎須　信子

春思い球根埋めるひとつづつ　鈴木　米子

紅葉（こうよう）の尾根遥かなり吾が故郷　山本五十鈴

短歌

叩き棒はたと止めたりジュウネンに太腹蟷螂鎌振り上げる　鈴木イミ子

ひだまりの窓辺によりてボタン付け母に似てきし節高の指　須藤　幸子

菊の花漫らに咲きても満足の木の葉はらゝと秋深み行く　佐藤　春枝

天文台通信

鮫川天文愛好会だより　vol. 9



M45プレアデス星団　肉眼でも楽しめるきれいな星団です

初冬の代表的な星座におうし座があります。おうし座には2つの散開星団がありますが、その1つがM45プレアデス星団です。M45は明るくて肉眼でも確認のできる星団です。日本でも「すばる」の名前で古代から知られており、清少納言の枕草子にも「星はすばる」と書かれています。また、自動車メーカーの名前で知っている方も多いと思います。地球からM45までの距離は440光年で、誕生して数千万年の若い星の集まりと言われています。カラー写真では青白いガスが見られて、とてもきれいな星団です。

【観望の予約・問い合わせ先】
村農林商工課☎0247-49-3113

第3回 ここから、いっしょに 修明高校鮫川校だより



ゲートボール大会

今年も老人クラブ連合会の皆様との親善ゲートボール大会が行われました。クラブの皆さまからは、技術的なアドバイスとともに、たくさんの励ましの言葉や笑顔をいただきました。



大豆収穫

雨の影響で出来栄えが心配された大豆ですが、昨年以上の量を収穫することができました。後は乾燥を待つばかりです。





青空の集い

恒例の「青空の集い（バーベキュー）」を行いました。あいにくの雨模様のため自転車置き場等での実施となりましたが、生徒たちは互いに協力しながら、楽しいひとときを過ごしました。

SUCHEDULE
いじめ防止講話…12月6日(水)
就職準備講習…12月12日(火)
就職ガイダンス…12月13日(水)
終業式 …12月19日（火）

文・写真／修明高校鮫川校
TEL 49-2029　FAX 49-3109
E-mail shumei-h-samegawa@fcs.ed.jp

こども園さつまの芋ほり賑わいて秋空清く園児を見守る
石井　幸子

賑わいぬ休耕畑の野草群れ折りに刈り取る野暮な事よと
須藤シツエ

テレビにて奥入瀬のなつかしい友と歩いた清らの流れ
前田喜三子

八十路過ぎ曾孫誕生男の子まるまる祝う未来頼もし
藤田千代子

水瀑の勢い凄し江竜田の今年は滝も見応え顕著に
板橋　源良

我が代で終わり農かと思いつつ稲の花咲く畔に佇む
関根キヌ子

夕暮れの窓辺にからむ朝顔が秋の風受けふるいているよ
赤坂　和子

紅葉をば眺めつ湯入り陽気な笑顔宴会爆笑今も忘れず
矢吹　一二

刈り終えし田面に初霜うっすらと紅葉写りて豊年称える
北條　平

鮫川職場探訪記 - 第 6 回 -

株式会社 森建設







1_ 森康治さん（写真中央）を中心に 19 歳～ 34 歳の若いメンバーも活躍する職場です／**2・3_** 道路改良工事を行っている水口住宅北側の村道。作業の効率化を担う重機は、アームを巧みに動かし、山を掘ります

道路をつくる、地域をつくる
より良い環境は道づくりから

㈱森建設は、郡内の道路改良工事や災害復旧工事を主に行っている建設会社です。森建設は、設立当初から、より良いもの作りを心掛けてきました。「安い！早い！うまい！（低コスト、納期厳守、高品質）を実現するには事前の準備が大切」と話す代表の森康治さんは、効率の良い方法がないか常に考え、入念に打ち合わせをしてから現場に入ります。

これからの季節、除雪作業でも森建設が活躍します。「皆の生活がかかっている。早く、安全に通れるように力を尽くします」と自信に満ちた表情で話す森建設だからこそ、私たちも安心して道路を走ることができます。

「工事だけでなく、周りの環境も考えた道づくり」という目標に向け、これからも森建設は信頼に応え続けます。

代　表　森　康治
従業員　18 名
所在地　大字赤坂中野字道少田 38
電　話　49-2626　（FAX 兼）

若者の広場　No.156

Young Plaza

阿久津好貴さん

何でも分かち合える地元のつきあい

★今、夢中になっていることは何ですか？

今は仕事に一生懸命取り組んでいます。棚倉のカローラ福島の営業を担当していますが、覚えることがたくさんあり、先輩たちに早く追いつくために頑張っています。

★将来の夢は何ですか？

結婚して幸せな家庭を築きたいです。孫の顔が見たいと父にも言われるので（笑い）。婚活などの集まりにも少し興味がありますが、一人だと恥ずかしいのでまずは知り合いと一緒に参加してみたいと思っています。

★鮫川村に住んでいて感じることや好きなところは？

仕事をするようになり、人とのつながりの大切さを改めて感じています。地域、同級生、家族のつながりなど、村内のつながりで助け合う生活が良いと思います。

★鮫川村に要望などはありますか？

観光地などをもっと利用しやすいように、道や施設を綺麗にしてほしいです。また、村の良さをもっと村外へアピールしてほしいです。

■

1月は、松本直紀さん（赤坂西野字上在住）の予定です。



あくつ・よしき
1994年５月生まれ　23歳
AB型　おうし座
趣味は買い物
西山字後折戸

さめがわ人　No.20
Person

鮫川村消防団　団長
渡邊浩佳さん
わたなべ・ひろよし（57）赤坂東野字蕨ノ草

諸先輩への感謝を忘れず後世の指導に励みたい



鮫川村消防団を率いる渡邊浩佳さん。25歳で村消防団に入団し、30年以上に渡り、団員として活動を続け、今年4月に団長に任命されました。現在、村消防団は団員219人で構成され、地域の火災時の消火活動や、予防消防活動などに取り組んでいます。

入団当初のことについて聞くと、「ポンプ操法の練習が大変でした」と渡邊さんは答えます。「私が所属していた第5分団4班は、当時、毎年開かれていたポンプ操法の村大会で優勝を続ける強いチームでした。そこへ1年目から選手に選ばれた私は、勝たなければというプレッシャーを感じ、経験者の先輩たちに追いつくために毎日必死に練習を重ねました」と当時を振り返ります。「一生懸命にやった経験は今でも私の支えになっています。指導者として、操法の選手に対して厳しくすることもありますが、それは選手たちに悔し涙を流させたくないからです。悔いが残らないよう全力で取り組んでほしいという思いで、私も真剣に向き合っています」操法への熱い思いが溢れます。

また、渡邊さんは昭和62年4月の江竜田の大火を経験した一人でもあります。「現場に入った瞬間から四方を熱気に包まれ、それまで感じたことがない恐怖を感じました。火の粉と煙が風で舞い、手が付けられない炎という印象が今でも残っています」と、山火事の怖さを強調します。

消防団長に任命されてから、予防消防を第一と捉え、「地道な呼びかけを繰り返すことで、火事を減らすことが出来ると信じています。そのためには、地域の理解と団員の協力が必要です」と話します。また、消防団の行事について、団員の都合を考慮して、環境の調整などを検討しているそうです。

これからの乾燥する季節、火の始末には十分に注意してほしいと渡邊さんは呼び掛けます。


秋季検閲で指揮を執る渡邊さん。検閲と出初式には全団員の出席を呼び掛けます

情報BOX

暮らしに役立つ身近な情報をピックアップ！

ⓘ案内

12月4日～10日は人権週間

法務省人権擁護局および全国人権擁護委員連合会では、12月10日（世界人権宣言採択日）の「人権デー」を最終日とする1週間を「人権週間」と定め、この日を中心として、積極的な啓発活動を行うことを申し合わせています。

そこで福島地方法務局および福島県人権擁護委員会連合会では12月4日(月)～10日(日)までを「第69回人権週間」とし、積極的な啓発活動や相談活動を行います。お悩みごとなどありましたら、お気軽にご相談ください。相談は人権擁護委員および法務局職員が対応し、秘密は守られます。

問みんなの人権110番☎0570-003-110／子どもの人権110番☎0120-007-110／女性の人権ホットライン☎0570-070-810

ふれあい相談会

12月4日(月)～10日(日)の、「人権週間」の期間中、村では、村人権擁護委員が特設人権相談所を開設します。ぜひご利用ください。

人権擁護委員は、地域の皆さまから相談を受け、問題解決のお手伝いをします。相談は無料で、秘密は守られます。

日時 12月4日(月)9時～12時

場所 村公民館

相談内容 ▼家庭内の問題▼隣近所のもめごと▼金銭賃借▼借地・貸家▼お年寄り・子どもの虐待▼いじめ▼不登校▼名誉侵害▼セクハラ・パワハラ問題など

問村住民福祉課☎49-3112／白河人権擁護委員協議会☎0248-22-1201

12月1日は「世界エイズデー」

WHO（世界保健推進機構）は、エイズのまん延防止および患者、感染者に対する差別などの解消を図ることを目的に、12月1日を「世界エイズデー」と定めています。エイズは、HIVウイルスに感染することで免疫力が低下する病気です。感染後すぐに発症するのではなく、自覚症状がない時期が数年間続きます。そのため、HIV検査を受け、早期に治療を開始することが重要です。

HIV感染の心配がある場合は、まず相談、検査を受けましょう。県内の各保健所・保健福祉事務所で無

毎月8日は「歯の日」です

防災無線でむし歯予防を呼びかけます。
12月の担当は――

鮫川中学校
保健給食委員

関根莉奈さん(1年)
三瓶紅音さん(1年)
舟木　咲さん(1年)



■電話番号

鮫川村役場（代表・総務課）
☎ 0247-49-3111
FAX 0247-49-2651

災害時対応電話（停電・災害時）
49-3302・49-3303

住民福祉課	49-3112
農林商工課・農業委員会	49-3113
地域整備課	49-3114
議会事務局	49-3115
出納室	49-3116

【その他の機関】

教育委員会	49-3151
図書館	29-1150
農業者トレーニングセンター	49-3295
学校給食センター	49-2113
こどもセンター（保育園・幼稚園）	29-1010
保健センター	29-1231
国保診療所	49-2028
ほっとはうす・さめがわ	48-2555
手・まめ・館	49-2556
山王の里	48-2848
ゆうきの郷土	49-3474

■鮫川村公式ホームページ
http://www.vill.samegawa.fukushima.jp/

■今月のあおぞら号昼バス運行日
12月1日、4日、5日、19日、20日

■今月の納税
村県民税（第４期）
国民健康保険税（第７期）
介護保険料（第７期）
後期高齢者医療保険料(第5期)
※納期限：12月25日(月)

information

料・匿名での相談やＨＩＶ検査を実施しています。
問県南保健福祉事務所☎０２４８-２２-６４０５

食べ残しゼロ推進運動
～食べ残しを減らそう～

現在、福島県全体の取組として「もったいない！食べ残しゼロ推進運動」を実施しています。これは、食材を無駄なく使い切り、おいしく食べきろうという運動です。積極的に実施し、もったいない食品ロスを減らしましょう。

ご家庭で　▼定期的に冷蔵庫の中身を確認し、必要なものだけ購入しましょう。▼食べきれる量のみ調理しましょう。▼賞味期限・消費期限をチェックし、期限内に使い切りましょう。

飲食店で　苦手な食べものが入っていないか、食べ切れる量か注文時に確認しましょう。▼食べきれないと思ったときは「小盛りにできますか？」と聞いてみましょう。

宴会5カ条　▼適量・好みに合った注文をしましょう。▼幹事さんから「おいしく食べきろう」と声かけをしましょう。▼開始30分、終了10分は席を立たずにしっかり食べる「食べきりタイム」を設けましょう。▼食べきれない料理は仲間で分け合いましょう。▼それでも食べきれなかった料理は、お店の人に確認して持ち帰りましょう。
問村地域整備課☎４９-３１１４／県生活環境部一般廃棄物課☎０２４-５２１-７２４９

経済的負担軽減のための国の教育ローン

日本政策金融公庫が取り扱っている「国の教育ローン」は、高校、大学、短大、専修学校、各種学校などに入学・在学するお子さんがいる家庭の経済的負担の軽減と教育の機会近郊など図るための公的な融資制度です。

利用資格　大学、大学院、短大、専修学校、各種学校、高等専門学校、高等学校などに入学・在学している人の保護者
融資額　お子さま1人につき最大３５０万円以内。入学金や授業料のほか、受験時の交通費や宿泊費、在学中の通学費用などにご利用できます。
その他　利率や返済期間など詳細については直接お問い合わせください。
問日本政策金融公庫教育ローンコールセンター☎０５７０-００８-６５６

予約年金相談について

日本年金機構では、全国の年金事務所で予約年金相談を実施しています。週の初めやお客さまへ各種お知らせが送付される時期など、窓口の混雑が予想されます。お客さまの都合に合わせて、スムーズにご相談いただくためにも事前にご予約のうえ、お越しいただくようお願いいたします。
問白河年金事務所☎０２４８-２７-４１６１／ねんきんダイヤル☎０５７０-０５-１１６５

村関係施設の年末年始営業日

	29日(金)	30日(土)	31日(日)	1日(月)	2日(火)	3日(水)	4日(木)
役場	※1						○
診療所	休	休	休	休	休	休	○
図書館	休	休	休	休	休	休	○
トレセン	休	休	休	休	休	休	○
手・まめ・館	○	○	○	休	休	休	○
手まめcafe	○	○	○	休	休	休	休
さぎり荘	○	○	休	休	※2		休

※1）8時30分～17時までは、日直が対応します。死亡届など緊急を要するものは受理できますが、証明書などの発行はできません。
※2）臨時営業をします。利用時間は14時～19時までです。（18時30分までに入館してください）

募集

放送大学4月学生募集

放送大学では、平成30年度第1学期（4月入学）の学生を募集しています。放送大学は、テレビ、ラジオ、インターネットを利用して授業を行う通信制の大学です。働きながら大学を卒業したい、学びを楽しみたいなど、さまざまな目的で幅広い世代や職業の人たちが学んでいます。

資料請求は無料ですので、気軽に問い合わせてください。
出願期間　▼第1回…平成29年12月1日(金)～平成30年2月28日(水)
▼第2回…平成30年3月1日(金)～3月20日(水)
※出願方法などの詳細は問い合わせてください。
問放送大学福島学習センター☎０２４-９２１-７１７４

Book 図書の缶詰

図書館からおすすめの本をご紹介
鮫川村図書館☎ 29-1150

第3土曜日は 家族一緒に読書の日



はじめてのオーケストラ

佐渡裕著、小学館出版

冬休みに入った12月の月曜日、コンサートホールには、素敵な時間が待っていました。

世界的指揮者でもある著者が、多くの子どもたちにもクラシックコンサートに足を運んでほしいと思いを込めて手がけた絵本です。



だし生活、はじめました

梅津有希子著、祥伝社出版

しっかりだしがあると味つけは少しの醤油と塩だけで十分だったりする。うま味がきいていればシンプルな調味料だけでも料理は良くなる。だしの、ど素人の著者が日常的にだしをとることが当たり前になるまでの成長物語。

火	水	木	金	土
			12/1 ●文化祭展示の部… 9 :00 ～ 19:00[公] ●昼バス運行日 [あ]	2 ●お遊戯会 [こ] ●文化祭展示の部… 9 :00 ～ 19:00[公]
5 ●文化祭展示の部… 9 :00 ～ 12:00[公] ●昼バス運行日 [あ]	6	7 ●やまゆり保育室 [こ] ●やまゆり乳児室 [こ]	8	9
12	13 ●やまぶきの会… 10:00～15:00[保]	14 ●わくわく図書館ひろば …16:00 ～ [図]	15	16
19 ●昼バス運行日 [あ]	20 ●心配ごと相談会… 13:00～15:00[公] ●おはなしの森… 16:00～[図] ●昼バス運行日 [あ]	21	22 ●幼稚園第２学期終業式 ●小・中学校第2学期終業式	23 天皇誕生日 ㊡ つちやクリニック (塙町)☎43-2250
26	27	28 ●官公庁仕事納め	29	30 ㊡ 和田医院(棚倉町) ☎33-2012
2 ㊡車田病院(塙町) ☎43-1019	3 ㊡おおひら整形外科クリニック(棚倉町) ☎33-9468	4 ●官公庁仕事始め ●消防団出初式	5	6

㊡＝休日当番医　［公］＝公民館　［図］＝図書館　［保］＝保健センター　［ト］＝農業者トレーニングセンター　［こ］＝こどもセンター　［あ］＝村営バス「あおぞら号」

※行事などの日程は都合により変更になる場合があります。

◆12月の筋力づくり教室

開講時間　10：00 ～ 15：00[保]

Aコース（渡瀬･富田･赤坂中野）	12/ 5㊋
Bコース（渡瀬・青生野）	12/ 6㊌
Cコース（赤坂東野・石井草）	12/14㊍
Dコース（西山）	12/19㊋
Eコース（赤坂西野・赤坂中野）	12/21㊍

問住民福祉課福祉係☎４９-３１１２

◆村関連施設営業時間

施設名	営業時間	定休日
村国保診療所	9：00 ～ 12：00 14：00 ～ 17：00	土・日・祝日
村図書館	9：30 ～ 18：00	月曜・祝日
村農業者トレーニングセンター	9：00 ～ 22：00	月曜・祝日
村農産物加工・直売所 手・まめ・館	9：00 ～ 18：00	第一水曜
手まめカフェ	10：00 ～ 18：00	水・木曜
村民保養施設さぎり荘	9：30 ～ 21：00	水曜

お誕生

10月届け出分



芳賀　結翔（ゆうと）・男
平 29. 9. 27 生
住所…滝ノ下
保護者…悦男・真由美



小瀧　桐也（とうや）・男
平 29. 10. 10 生
住所…新宿
保護者…裕也・歩

おくやみ

10月届け出分・敬称略

住所	氏名	月日	年齢
彦次郎	松本　啓	10. 3	98歳
岡田	藤田　ミツ	10. 8	94歳
伏木田	小林　春男	10. 11	80歳
石井	中川西榮枝	10. 20	91歳
鍛治平	根本　勇	10. 22	85歳
大石草	鈴木テル子	10. 29	85歳
岫長	北條　昭一	10. 29	90歳

人の動き

11/ 1 現在・（　）は前月比

人口	3,526 人	（－14）
男	1,772 人	（－4）
女	1,754 人	（－10）
世帯	1,124 戸	（－1）

寄付寄贈

10 月受理分・敬称略

■**社会福祉事業のために[金員]**…松本惠治（彦次郎）　藤田芳明（岡田）　小林大介（伏木田）　中川西一男（石井）　根本一郎（鍛冶平）　鈴木芳保（大石草）　北條浩二（岫長）

■**ひだまり荘へ[紙おむつ]**…森田重男（世々麦）　藤田芳明（岡田）　生田目孝行（中沢）

■**村長が必要と認める事業のために[金員]**…菊地靖夫（郡山市）

※お誕生、おくやみ、寄付・寄贈欄への掲載を希望しない人は、届け出の際に申し出てください。

編/集/後/記

■今月号では村の伝統芸能を取材しました。獅子舞と太鼓、どちらでも話されていたのは子どもの覚える早さについてです。子どもたちは教えたことを何でも素直に吸収します。また、小さい頃に覚えたものというのはなかなか忘れないものです。口頭で伝承していく伝統芸能を守るうえで、子どもたちというのは重要な存在なのかもしれません。　（西橋）

December 12 暮らしのカレンダー

日	月
3 ㊡塙厚生病院(塙町)☎43-1145 ●文化祭展示の部… 9 :00 ～ 19:00[公] 第 1 日曜日は環境美化の日	**4** ●文化祭展示の部… 9 :00 ～ 19:00[公] ●昼バス運行日[あ]
10 ㊡木村医院(矢祭町)☎46-3528	**11**
17 ㊡あらまちクリニック(棚倉町)☎33-8018 ●親子読書教室…16:00 ～[図]	**18**
24 ㊡金澤医院(矢祭町)☎46-2312	**25**
31 ㊡大木医院(棚倉町)☎33-2424	**1/1** 元旦 ㊡深谷クリニック(棚倉町) ☎33-3223

◆村国保診療所送迎車運行日

曜日	月	火	水	木	金
地区	村内全域	赤坂西野 西山	赤坂中野 東石	青生野	富田 渡瀬

※送迎を希望する人は、 前日までに申し込みください。

問村国保診療所☎４９－２０２８

◆乳幼児健診日

3～4カ月児健診※	12/11 ㊊
10 カ月児健診※	12/ 7 ㊍
1歳6カ月児健診	平成 30 年　2/ 1 ㊍
3歳児健診	平成 30 年　3/ 1 ㊍

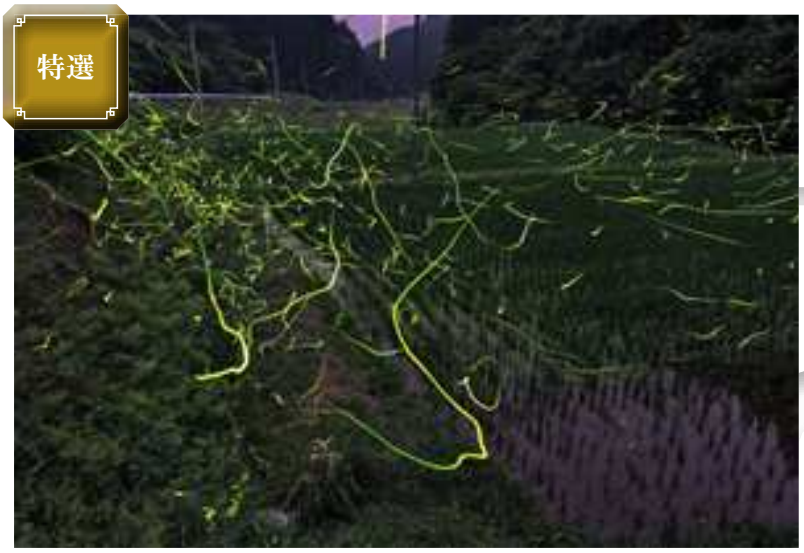
※お母さんの口腔健康相談も行います

問住民福祉課福祉係☎４９-３１１２

第9回鮫川村フォトコンテスト
さめがわの四季の移ろい

「鮫川村の四季を感じる風景」をテーマに、村の美しい農村景観の魅力を発信するために開かれている「鮫川村フォトコンテスト」。今年は村内外の46人から148点の応募がありました。応募作品の中から受賞した作品を紹介します。

特選



【村長賞】
潤夏蛍舞
山内壮介さん（棚倉町）

準特選



【福島民報社賞】
秋の一コマ
矢作武一さん（古殿町）

準特選



【福島民友新聞社賞】
福寿草の郷
熊田行雄さん（鏡石町）

【入選】 入選作品は、平成30年さめがわふるさとの四季カレンダーに掲載される予定です。



応募作品は鮫川村文化祭に展示しますので、ぜひ直接足を運んでご覧ください。展示期間：12月1日～5日

平成29年12月1日発行（毎月1日発行）
第764号（昭和27年9月創刊）
発行／福島県鮫川村　編集／鮫川村役場総務課
〒963-8401　福島県東白川郡鮫川村大字赤坂中野字新宿39番地5